



初秋の函館公園で仲良く一輪車

佐藤 篤氏・昭和48年卒

**夕  
陽**  
函館市支部会員  
**発行所**  
 夕陽会 函館市支部  
 函館市立潮見中学校  
 印刷／株島本印刷



夕陽会函館市支部 副支部長 鳴 海 裕

(昭和五十四年卒)

函館市は、横浜、長崎とともに近代日本最初の国際貿易港として海外にいち早く門戸を開いた街である。本年は、その開港から百五十年目にあたる記念すべき年である。七月一日の開港記念日に行われる記念式典をオープニングに、「再・開港はこだて2009～Re:start HAKODATE 未来へ」をコンセプトとして、様々な記念事業が開催される。新たな「みなとまち函館」の魅力を世界に発信する飛躍の一年になることを一市民として願っている。

開港後、アメリカ、イギリスなどの外国船の入港にともない、当時の函館の人々は、異国の「ひと」「もの」と日常的に交わることとなる。そして、戸惑いながらも、自分たちとは異なる文化や立場を認め合いながら、それらを生活に浸透させ、「歴史とロマンの街・函館」の礎を築き上げていったのである。

互いの違いを認め合い、共感し、共理解するという函館の先人の精神は、まさに、「ホスピタリティ」（心からのおもてなし）そのものであると考える。ホスピタリティは、サービス産業にとっては、欠かすことのできない精神であると言われている。マニュアル通りのサービスでは、信頼や信用、安心感は生まれない。レストランの評価を星の数で表すことで知られるミシュランガイド（観光地ガイドブック等も含む）においても、料理の

函館市は、横浜、長崎とともに近代日本最初の国際貿易港として海外にいち早く門戸を開いた街である。本年は、その開港から百五十年目にあたる記念すべき年である。七月一日の開港記念日に行われる記念式典をオープニングに、「再・開港はこだて2009～Re:start HAKODATE 未来へ」をコンセプトとして、様々な記念事業が開催される。新たな「みなとまち函館」の魅力を世界に発信する飛躍の一年になることを一市民として願っている。

開港後、アメリカ、イギリスなどの外国船の入港にともない、当時の函館の人々は、異国の「ひと」「もの」と日常的に交わることとなる。そして、戸惑いながらも、自分たちとは異なる文化や立場を認め合いながら、それらを生活に浸透させ、「歴史とロマンの街・函館」の礎を築き上げていったのである。

昨年の世相を象徴する漢字に「変(HEN)」が選ばれた。日米の政治、世界的な金融危機などの変化・変動が主な理由だそうだ。学校教育も今、教育改革のスピードは速く、また、その度合いも急激であり、教育の制度や体制、構造の改革も急速に進んでいる。

こうした時だからこそ、学校は、未来を担う子どもたちのために、明るかに(H)、営業と(E)、そして、和やかに(N)、不易と流行をしつかりと見極め、新しい時代にふさわしい教育を創造することが求められているのではないか。

美味しさはもちろん、その店のもつホスピタリティも評価の観点として重要な要素であるに違いない。

さて、母校においては、平成十八年四月一日に全面的な課程の改組が行われ、いよいよ平成二十一年度からは、全ての学生が人間地域科学課程で学ぶことになる。当然、卒業生の大半が一般企業や官公署等に就職することになり、『同窓会』も、これまでとはその色合いに違いをなたせることが必要になる。創立九十周年の節目を迎えた今、『Re:start 夕陽会』のチャンスなのかもしれない。函館市民の心の伝統である「ホスピタリティ」をキーワードに、より一層会員の声に耳を傾け、会の有り様について一人一人の知恵を結集する時であろう。

【再・開港はこだて2009】に想う



## 教育改革に思う

夕陽会函館市支部 顧問 板東忠康

(昭和三十三年卒)

去年の世相を表す漢字は「変」、では二〇〇九年はどんな漢字を願うか――。新年まもないテレビ・ニュースキャスターの問い合わせである。視聴者からは、転、活、気、生、命：が寄せられた。かのキヤスター自らは「真」を提示した。が、私なら「信」を願う。

教育界においても、昨今の変革のうねりは大きい。教育を取り巻く環境の変化の激しさは、古稀を過ぎたわが身にはめまいを覚えるほどである。

教育基本法の改定、学習指導要領の改訂、全国学力テストの実施、小学校英語の必修化、さらに教員免許の更新制、等。近年の政治や経済の混乱が、教育環境の急激な変化を加速させ、学校の風景を止めどなく揺らしている。

管見を述べれば、教育基本法の改定には、より慎重な検討がほしかった。同法改正を最重要政策に掲げた当時(〇六年)の安倍内閣は、美しい国・日本を標榜して、同時に憲法改正への道筋をもつけてしまった。憲法前文を美しい日本語で書き改めるとうたつて。だが安倍政権の命運は、わずか十一か月。砂上の楼閣のようないろいろな存在であった政府が、教育改革を推し進めたわが国の危うさを思う。

教育改革は、いつの代でも、どこの国でも曲折の軌跡を描く。なれど未来への夢を育む教育への熱情と、人の世の信実は、見失いたくない。

外国の例では、英國のブレア政権の教育改革が思い起こされる。就任した一九九七年、ブレア首相は「教育、教育、そ

して教育！」と国民に訴えた。以後、教育予算を増額して、校舎・設備の充実と教員及び助教員の大幅増員を実現した。十年余を経た近年、ナショナルテストでの学力は確かに向上したとする。だが弊害も顕著になつた。それは子どもの思考力や表現力の低下であり、さらにテスト結果の公表に伴う学校の序列化と学校間格差の広がりであるという。(イギリス・教育改革の教訓) 阿部菜穂子著) ブレア首相が教育改革を声高に叫んだ同じ年、わが国では愛知県犬山市に瀬見井久氏をリーダーとする「教育検討委員会」が発足した。同委員会は、犬山市長の信任を得て〈教育の地方自治〉を旗印に掲げ、独自の教育改革に取り組んだ。それは大胆な少人数学級の編制実施と、子ども同士の「学び合い」を重視した授業づくりである。

残念ながら私は、それらの詳細を紹介できる知見も余裕を持ち合わせない。ただキーワード風にくくれば、自由競争を重視したイギリス教育の苦悩、教育の地方分権を目指した犬山市の挑戦と可能性、ということになるうか。

## 受賞者ご芳名一覧 (敬称略・順不同)

春の叙勳 瑞宝双光章	北林秀男 (昭和29年卒)
法務大臣表彰	任功 (昭和16年卒)
30年勤続体育指導委員表彰(全国)	近藤重治 (昭和33年卒)
30年勤続体育指導委員表彰(全国)	野野間昭秀 (昭和40年卒)
北海道教育功績者表彰	絹本小昭 (昭和46年卒)
北海道教育実践表彰	中間林秀 (昭和48年卒)
函館市文化賞	中村薰 (昭和30年卒)
函館市文化団体協議会青麒麟章	葛西広治 (昭和63年卒)

## 函館市立学校教職員表彰

大川富美男 (昭和45年卒)	亀谷幸夫 (昭和46年卒)
大平洋 (昭和45年卒)	新明修一郎 (昭和46年卒)
福嶋功 (昭和45年卒)	武田隆雄 (昭和46年卒)
藤川潔 (昭和45年卒)	稻島恒 (昭和47年卒)
山田道子 (昭和45年卒)	畠野克行 (昭和47年卒)

受賞おめでとうございます



多くの人に支えられて

佐藤任

この度、矯正教育功労者として、法務大臣表彰の栄に浴しましたことは、私にとって望外の喜びであります。

これは、ひとえに先輩や同窓の方々の御指導によるものと深く感謝致しております。

訓導として七月、太平洋戦争開戦により兵士として、満洲、中国、中部太平洋に参戦し、九死に一生を得て、昭和二十一年復員しました。

三十代の肺結核による休職は四年に及びましたが、家族はもちろん、多くの方の励ましと、御教示により、何とか停年を迎えることが出来ました。

それでも、手探りで当時開業した「ホーテルあかしあ」での仕事、大谷高校の時間講師等夢中でがんばりました。



よろこびの言葉

薰（朝山）

この度、はからずも函館市文化賞を受  
賞いたしました。

受賞にあたりまして、夕陽会の皆様方からたくさんの祝意を寄せていただきましたことを心からお礼申し上げます。

顧みますと、昭和二十八年に学芸大二類に入学、故東海林教授の国語研究室に

所属しながら、副專として故渕上教授の美術部に所属して、油絵の勉強をさせていただいた折り、国語の免許を取得する

ために書道一単位を取得せねばならなかつたのである。書道研究室を訪れるたびに、故太田鶴堂教授より書道研究室に

顔を出したらどうかと再三声をかけられ  
この二単位のために卒業出来ぬことに  
なつたら大事になると考へ、泣く泣く、美

術研究室に別れを告げ、書道研究室に所属することに決心した。このことが私の人生大きな影響を与えたことになる。

人生に大きな影響を及ぼすことになることは夢にも思つてもいなかつたのである母校卒業後、東洋大三年編入試験を受

け合格、故太田鶴堂先生のお力添えもあつて、故金子鷗亭先生に入門、書の研

鉢は持ち込んでいた中父より東京本社（日魯漁業KK）に転勤することになつたので急遽帰省せよとのこと。当時は現

の存在は絶対的なものであつたのであるやむなく、三日後の北海道教職員採用



## 素晴らしい仲間に支えられて

本間秀昭  
(昭和四十六年卒)

この度、北海道教育功績者表彰の栄に浴したところ、多くの方々から御祝いの言葉をいただき、大変恐縮しております。この栄誉は、もちろん私一人がいただいたものではなく、これまで一緒に汗した先輩・同僚・後輩の方々、同窓会並びに函館市中学校長会の仲間が一緒にいたいたものであります。

たまたま、私が、函館市中学校数学教

育研究会や函館市国際理解研究会、函館市中学校長会の会長を仰せつかつたといふことで、この受賞に結びついたものと思つております。

もし、私に教育の功績があつたとしたら、それは、平成九年から十年にかけて勤務させていたいた本通中学校での苦しくとも楽しかった闘いの日々がそれに当たるのかと思います。この頃の本通中学校は、生徒数、千人のマンモス校であり、いわゆる、生徒指導困難校でありました。生徒の身勝手な行動に先生方の指導が行き渡らず苦労の連続でした。そこで、教頭で赴任した私は、教職員と一致団結してこの状況を打破していくことに精力を注ぎました。一年目前半は、生徒の後追い指導に翻弄されましたが、生徒の実態を掴み、少しづつ積極的な生徒指導を開けるようになつていったと思ひます。汚れた校舎の内壁の塗装、花壇の整備、生徒会と町内会の連携による「ハートフル・ロード」(学校近くの道路をプランターで飾る)などの環境整備、

たいたものであります。

「本中よさこい」や函館港祭りの「イカ踊り」への参加や「全校合唱」など行事を通して、生徒とふれ合い、生徒理解に先生方がよく努めたと思います。もちろん授業改善にも取り組み、「分かる授業」の研究を進めるなどの努力をする事によつて、学校が大きく変わつたと自負しています。

これらのこととは、当時の校長の強いリーダーシップと若い教師達の行動力、そしてそれらを束ねる中堅教員の熱い思いと努力が実を結んだものと思います。また、PTAの方々の献身的な協力が私達教職員の大きな支えとなつていきましたし、用務員さん達の地道な努力も非常に大きかつたと思っております。また、同時に、心に悩みを持つ生徒に、毎日遅くまで相談活動にあたつてくれた多くの先生方の努力があつたことも見逃せません。

まさに、教職員と団結し、保護者と協力し、生徒達との闘いの日々であります。この立て直しの原点は、以前に勤めていた光成中学校で培つたものであり、そこには、教頭で赴任した私は、教職員と一緒に、生徒達との闘いの日々であります。この頃の仲間が支え合い助け合つて学校を変えいつた経験があつたからだと思つています。

この様に多くの先輩・同僚・後輩出会い、学んだことがこの受賞に繋がつたことを深く感謝しております。これからも、函館市の教育のため、夕陽会の発展の為にお役に立てればと思つております。



## 同窓の土の集まり『夕陽会』の使命を一層高めながら

畠野克行  
(昭和四十七年卒)

この度、函館市立学校教職員表彰の栄誉を得ましたこと、誇りに思い、共に歩んできたすべての皆様方のご支援とご協力に、心から感謝を申し上げます。

初任地は奥尻の青苗中学校でした。地域の方々に大変お世話になつたこと、忘れられません。朝起きると、玄関先に冷凍箱に入つたイカが無造作に置かれていました。誰が持つてきたのか、全く分かりません。ですから、御礼の言いようがないのです。牡丹エビが山のように入つた冷凍箱が置かれていたこともあります。さすがに、エビ籠漁をやつている漁師さんは限られていますので、何とか、くだけたとき、漁師さんは胴付き(どんづき)を身につけ、長いタモをもつて、海中のホヤを救い上げます。海産資源ですから、

漁師さんは海の中で漁をする許可を持っています。私たちは、浜辺に打ち上げられたホヤを拾うだけです。でも、黒いゴミ袋一杯の釣果(?)があります。当然大漁の日ですから、また、あちこちからホヤをいただきます。もつたない話します。

夕陽会は同窓の土の集まりですが、多くの士が挙つて、英知を出し合い、これらの教育の方向を示し、子供たちに夢と目標を与える活動の先頭に立つ時、この会の使命が一段と高まっていくものと思われます。私自身、微力ながら、そうした活動に携らせていただきことを決意し、お礼の言葉といたします。

奥尻は物価も高く、僻地手当がなかなか生活できなかつたかもしれません。そうした中、青苗では、人として、

この度、北海道教育功績者表彰の栄に浴したところ、多くの方々から御祝いの言葉をいただき、大変恐縮しております。この栄誉は、もちろん私一人がいたいたものであります。

たまたま、私が、函館市中学校数学教

育研究会や函館市国際理解研究会、函館市中学校長会の会長を仰せつかつたといふことで、この受賞に結びついたものと思つております。

もし、私に教育の功績があつたとしたら、それは、平成九年から十年にかけて勤務させていたいた本通中学校での苦しくとも楽しかった闘いの日々がそれに当たるのかと思います。この頃の本通中学校は、生徒数、千人のマンモス校であり、いわゆる、生徒指導困難校でありました。生徒の身勝手な行動に先生方の指導が行き渡らず苦労の連続でした。そこで、教頭で赴任した私は、教職員と一緒に、生徒達との闘いの日々であります。この頃の仲間が支え合い助け合つて学校を変えいつた経験があつたからだと思つています。

この様に多くの先輩・同僚・後輩出会い、学んだことがこの受賞に繋がつたことを深く感謝しております。これからも、函館市の教育のため、夕陽会の発展の為にお役に立てればと思つております。

「ハートフル・ロード」(学校近くの道路をプランターで飾る)などの環境整備、



## 心のハーモニーに感謝して

福嶋 功  
(昭和四十五年卒)

この度、平成二十年度、函館市立学校教職員表彰の栄誉を賜り、夕陽会同窓の皆様をはじめ、多くの方々のご指導やご支援があつたればこそと、心より厚く感謝いたしております。また、受賞に際しまして、夕陽会函館支部より祝意をいただき重ねてお礼申し上げます。

私と夕陽会との出会いは、昭和四十五年、後志管内黒松内町立黒松内中学校に新採用として教師の一歩を歩み始めた年夕陽会後志支部の青年部「新進会」に入会したことが始まりです。一泊での夏期研修会などで、先輩より、教育研究の理論や実践をはじめ、教師としての悩みなどを相談し、教育のイロハやたくさんの心の糧を得ることができました。同窓会は、懐かしさや楽しさの他に、お互に同窓生と分かると親しみが増し、うち解けられるものです。これは、お互に心を懐かしむ心や仲間意識がそうさせることであります。

三十八年間の歩みを振り返ってみると

これまで、夕陽会はじめ多くの皆様方からたくさんのご指導ご支援を通して、「温かい心」をいただいた教職生活であつたことに重ねてお礼申し上げます。

母校の音楽科も今年度で最後の卒業生を送ることになりますが、夕陽同窓会が「創造し行動する夕陽会」としてさらに発展するよう、私も会員の一人として微力ながら協力していきたいと思います。

今後ともご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

「心のハーモニー」(心の響き合い)を大切にしてきました。「音楽は心が一つにならないと素晴らしいものは生まれない。音と音、音と人との響き合い、人と人の学び合いを大切にした音楽の活動を重視し、音楽を通して地域・家庭・学

校が一つになつて創造すること」を目指してきました。また、理想とする子供像として、「自己の感性を生き生きと働かせて、主体的に音色や響きの良さを感じ取つていく力を身につけて、音楽を好きになつてくれる子供を一人でも多く育てたい」と願い、日々実践に努めてまいりました。

お世話になつた函館市小学校音楽教育研究会では、全日本リコーダー教育研究大会、全道音楽教育研究大会、道南音楽教育研究大会、全道鍵盤学習研究大会各種講習会、夕陽音楽会の事業を通して研究授業、研究発表、実技講師、事務局担当など、貴重な経験をさせていただきました。これらを通して、夕陽会の音楽科研究の成果や喜び、苦しみを共有できた体験は、私の貴重な財産となりました。

これまで、夕陽会はじめ多くの皆様方からたくさんのご指導ご支援を通して、「温かい心」をいただいた教職生活であつたことに重ねてお礼申し上げます。母校の音楽科も今年度で最後の卒業生を送ることになりますが、夕陽同窓会が「創造し行動する夕陽会」としてさらに発展するよう、私も会員の一人として微力ながら協力していきたいと思います。

「心のハーモニー」(心の響き合い)を大切にしてきました。「音楽は心が一つにならないと素晴らしいものは生まれない。音と音、音と人との響き合い、人と人の学び合いを大切にした音楽の活動を重視し、音楽を通して地域・家庭・学



## 皆さんに支えられ、助けられ

大平 泰  
(昭和四十五年卒)

この度、函館市立学校教職員表彰といふことで表彰状と記念品を頂戴しました。多くの仲間に支えられ、助けられての三十八年間の教職生活であつたことを思うと何やら面映い感じもありましたが、そうした皆様に感謝とお礼の気持ちを込めて受けさせていただきました。

振り返つてみると、昭和四十五年の教員としての新任地の学校は、函館から遠く離れた網走管内の東藻琴小学校でした。職員は一七名ほどでしたが、その教頭先生一人だけが我が夕陽会の先輩でした。教職に着いた年が小生の生まれた年と一緒に聞いて、何かの因縁とも思いましたが、遠い母校からよくやって来たとかわいがつてもらいました。また、当時夕陽会の網走支部長をされていた方が小生の父親と同期ということで、さつそく支部の集まりに呼び出され、少ない仲間が増えたと歓迎を受けたことが懐かしく思い出されます。本部のお膝元、函館・渡島ではあまり感じないのですが、同窓の仲間意識というか、『夕陽』の匂いを大事にする感覚は、遠くの地ほど強いように思われます。

教員になる前の学生時代に、教員の資質として大事なものは、「教育愛・教育技術・人格・教養・知識」だと先輩教員に教えられたことがあります。特に小学校では「愛と技術」とのことでした。それが何かしら頭から離れず、折にふれて噛みしめ、自分の実践の糧にしてきました。そしてそれは、子供に対してだけではなく、同僚・仲間と共に研究・実践を進める上でも、学校経営を進める上でも常に大事な要素であつたように思います。

今、目の前にいる『この子供たちのために』という使命感は、教育愛なくしては持続できません。そして、使命感に燃えて、それ相応の教育的な技術なくしては効果を発揮しません。さらに、それらの愛や技術が子供にとってより効果的に働くためには、教師のもつ人格的な温かさが強く影響します。だれしも完璧ということは望むべくもありませんが、心の底にあるとないとでは、大きな違いが生じると思うのです。こうした教師としての基礎的な心構えを植え付けてくださいた夕陽先輩がいらつしやつたということに感謝するとともに、幸運を感じています。

先の夕陽会報に、函教大ラグビー部四十周年の記事が掲載されていました。創部に関わった一人として紹介されていて、半世紀近くも前の若かりし時を思い起こさせてもらいましたが、そうした学生時代、青年教師時代、中堅時代、管理職時代を通じて、常に仲間に支えられ、助けられてきました。中でも同窓の皆さんには恩深きものがあります。有り難うございました。

## 一事徹底



函館市立日吉が丘小学校  
八木裕

(昭和五十三年卒)

昨春、日吉が丘小学校に赴任し、

早くも一年が過ぎようとしています。

本校では、重点教育目標を「笑顔で学ぶ 日吉つ子」

と掲げ、最重要課題である「確かな学力の育成」を図るために、校内研究を中心とした教師の指導力の向上はもちろのこと、子供たちの日常における生活習慣の見直し、朝習字や朝読書、家庭学習の徹底など様々な取り組みを進めているところです。

四月当初、校長となつて初めて経営方針を発表しました。自分の目指す学校づくりについて話をしなければなりませんから、とても緊張するとともに、たくさんのこと伝えたいという思いで、あれもこれもと考えがまとまらない状況にありました。大変困りましたが、その時、以前勤務していた学校の上司である夕陽会の大先輩、小林周次校長先生がよく話されていた「一事徹底」という言葉を思い出しました。

「一事徹底」とは、学校が達成しなければならない課題はたくさんあるが、特に重点と考える課題を一点に絞り込み、そのことを教師や保護者、子供たちも同じ歩調で徹底的に取り組むといった意味であります。

私は、先生方に「学校ではすべきことがたくさんあります、まずは授業をしつかり行つてください。授業については、職員会議や研修の場で「開かれた議論」をし、自らの指導力を高めてください。そして、授業参観や懇談会を通して、保護者にも学力向上の取組について十分理解してもらうように努めてください。」と話をしました。

現在、徐々にではありますが、子供たちが「わかった」「できた」と笑顔で学ぶ姿が多く見られるようになりました。今後も、「一事徹底」を貫き、信頼される学校づくりを目指したいと考えています。

# 新

# た

# な

# る

# 飛

# 躍

## 地域と共に歩む学校づくりをめざして



函館市立榎法華小学校  
高橋登

(昭和五十三年卒)

平成二十年四月に着任した榎川小中学校

小中学校は、今年度で、小学校は創立一〇八年、中学が四十八年目を迎える歴史と伝統のある学校です。

児童生徒は、小中合わせて三十三名と少人数ではありますが、一人ひとりが自分の目標をしっかりと持ち、重点教育目標の「探して・創つて・輝こう」の達成に向けて、熱心に教育活動に取り組んでいます。本校の

特色は、校区内の恵まれた自然環境を活用した体験学習に積極的に取り組んでいることです。豊かな体験活動を通して、子どもに自己の生命の尊重や、美しいものに感動する心、自然を大切にする心を育てています。また、学生ボランティアの協力や小中教職員の協力体制の下、一人ひとりの子どもの実態に応じた、きめ細かな学習指導を継続しています。そして、運動会や文化祭などの学校行事では、小中学生が協力し合い、併置校の利点を生かしたユニークな学校行事を創りあげています。

まもなく第三学期、楽しみにしている小学校のスキー学習もスタートです。さらに、中学校三年生は進路選択を、そして、全員が一年のまとめの時期を迎えます。学校は、「子どもの確かな成長をもつて教育成果とする」、そして、残された課題解決に向か、地域・保護者と一体となって、全力で教育活動に邁進する覚悟です。私自身、久しぶりの小学校勤務であり、小中併置・複式指導など、様々な勉強をさせていただいています。明るく元気な子どもたちと共に、もう一度教える原点に立ち返つて、努力していきたいと思います。

今後とも、夕陽会の皆様のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

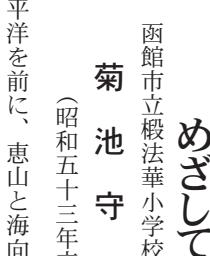
# 地

# 域

# と

# 共

# 歩



函館市立榎法華小学校  
菊池守晃

(昭和五十三年卒)

太平洋を前に、恵山と海向山を背にし、榎法華小学校が創立開校したのは、明治十三年四月のことです。教育の重要性を認識して渡島でも早い時期に開校され、地域住民の教育に対する深い理解と熱意、そして歴代の校長先生を始め諸先生方の時代時代の努力が、現在の榎法華小学校の校風と伝統を築き上げてくれたものと思つております。「和顔愛語」という言葉が廊下に掲げられています。本校の教育の根幹をなすように思います。子どもたちは、明るく素直であり元気いっぱいに学校生活を送っています。また、保護者や地域の皆さんも、いろいろな形で学校を支えてくれます。「子どもたちの笑顔が地域を元気にする」と話し、運動会や学芸会等の学校行事には、保護者はもちろんのこと、地域の方々も多く参加してくれます。小中連携を目的に今年度実施した「第一回榎法華小・中学校合同地域公開」にもたくさんの方が来校され、子どもたちに温かい励ましの言葉を掛けてくれました。

さて、早いもので、校長として榎法華小学校に赴任し、一年が過ぎようとしています。これまでの学校経営を振り返る中で、地域と共に歩む学校づくりの大切さを強く感じております。「地域を知り、地域を活用してこそ、地域の子どもを育てることができる。」と指導してくれた諸先輩の言葉を思い起こし、榎法華の未来を担う子どもたちを育てるべく決意を新たにしていきます。これからも、地域と共に歩み期待と信頼に応える学校づくりをめざし、先生方と手を携えて一層の努力をする所存です。今後とも、諸先輩一同窓の皆様のご指導をよろしくお願ひいたします。



函館市立北星小学校

『響け歌声～音楽集会』

函館市立千代田小学校

『思い出づくり～  
お泊まり会の野外劇出演』



函館市立えさん小学校

『地域の自然満喫～  
磯遊び体験学習』

函館市立五稜中学校

『亀田川清掃ボランティア』



函館市立西中学校

『第2回函館市西部地区  
教育芸術祭』

函館市立亀尾小中学校

『ねった蕎麦を丁寧に  
のじてます。～そば学習』



特色ある教育活動

# 学校・職場紹介

## 函館市立赤川中学校



### ■会員紹介

#### 高橋英雄（昭和四十七年卒）

今年度で二年目となります。ほんの少しではありますが、生徒の変容が感じられるようになつてきました。学校としての基本姿勢と指導の軸をプラスすることなく、生徒との「眞の信頼関係」を築いていくよう日々実践を積み重ねていきたいと考えています。

**安濃万知子**（昭和四十八年卒）  
本年度本校に赴任いたしました。今まで

本校は昭和五十五年に創立開校し、平成二十一年度で三十周年を迎えます。現在全校生徒五百七名に厳しさと温かさを基盤に、日々熱意をもつて取り組んでいる、十五名の会員を紹介いたします。

**近江谷光之**（昭和五十二年卒）  
残り六年という所で昨年四月、本校に赴任しました。若い先生が多く、パワーをもらひながら新鮮な気持ちで毎日を送っています。一年の担任と英語を担当していますが、先生方が真剣に接するとそれに子どもが答える校風です。学期毎に成長する生徒に感動するこの頃です。

**佐竹聰**（昭和五十八年卒）  
今年度本校に赴任いたしました。学校活動も一所懸命取り組むので、毎日充実した学校生活を送っています。

**野村真紀子**（平成元年卒）  
今年度で赴任三年目となりました。本校三階廊下の窓からは四季で表情を変える函館山が見え、爽快です。

**山形もとこ**（平成八年卒）  
現在は三年副担任、三年国語科、生徒会担当です。本校生徒は勉強も生徒会活動も一所懸命取り組むので、毎日充実した学校生活を送っています。

**菅政也**（平成五年卒）  
赤川中学校に赴任して五年目になり、今年度で教員生活十六年目になります。

最初の赴任校は八雲町立八雲中学校でした。

**保健体育科の教師として、柔道部の顧問として充実した毎日。喜怒哀樂の「豊かな情操」を生徒と共有していると自負するからこそその充実であり続けたい。**

**近江谷光之**（昭和五十二年卒）  
残り六年といふ所で昨年四月、本校に赴任しました。若い先生が多く、パワーをもらひながら新鮮な気持ちで毎日を送っています。一年の担任と英語を担当していますが、先生方が真剣に接するとそれに子どもが答える校風です。学期毎に成長する生徒に感動するこの頃です。

**小川史浩**（平成元年卒）  
赤川中学校に赴任して四年目となりました。今年度は進路担当となり、毎日目まぐるしく生活しています。

**生徒指導上の問題や学力の向上等、解決すべき課題がたくさんあります。先生方の協力体制が整つて職場の雰囲気は非常に良いです。**

**森脇あすか**（平成六年卒）  
本校に赴任して一年目です。一年生の副担任、国語を担当しています。

**赤川中では、まだまだ慣れないところもあり、これから学んでいかなければならぬことがあります。澤山あるなあ」と実感しているところです。毎日、元気で明るく生徒と過ごしていきたいと思います。**

**山形もとこ**（平成八年卒）  
赤川中学校で二年がたちました。本校には夕陽会会員が多く、心強く感じます。今は、吹奏楽部の副顧問をしながら、演奏会に向けて部員と共に過ごしています。教育大学函館校の音研も今年で最後となりますが、熱く燃えた学生時代の思い出を胸に、これからも頑張ります。

同じ学校で仕事をさせていただいた先生方が多くいらして温かく迎えていただきました。素朴で明るく元気な生徒と一緒に歌声の和が広まつてゆくのを楽しんでいます。教職生活あと二年。元気で頑張つてゆきたいと思います。

**高橋寛**（昭和四十九年卒）

赤川中学校は、校舎の周りに造園業の方の樹木の畠が多数あり、四季の移り変わりとともに、木々の美しい変化を見る

ことができます。南側には函館山、北側には横津の連山があり素晴らしい環境に恵まれています。次の勤務校は是非、赤川中学校を希望してください。

**畠山修一**（昭和五十一年卒）  
本校勤務三年を終えるところ。

授業の一時間一時間を、学校生活の一

日一日を全力で過ごせたと思つてゐる。

保健体育科の教師として、柔道部の顧問として充実した毎日。喜怒哀樂の「豊かな情操」を生徒と共有していると自負するからこそその充実であり続けたい。

**近江谷光之**（昭和五十二年卒）  
残り六年といふ所で昨年四月、本校に赴任しました。若い先生が多く、パワーをもらひながら新鮮な気持ちで毎日を送っています。一年の担任と英語を担当していますが、先生方が真剣に接するとそれに子どもが答える校風です。学期毎に成長する生徒に感動するこの頃です。

**小川史浩**（平成元年卒）  
赤川中学校に赴任して四年目となりました。今年度は進路担当となり、毎日目まぐるしく生活しています。

**生徒指導上の問題や学力の向上等、解**

たつていくよう努力しています。

**仲井靖典**（昭和六十一年卒）  
赤川中学校に赴任して一年が経過します。昨年度まで生指協と関係の方々に大変お世話になりました。本校では校長先生をはじめ、田中先生をリーダーに生徒指導が充実しているので、少しほは本業の美術教師として、生徒と共に制作活動を楽しもうと企んでいるところです。

**宮前由一**（昭和六十三年卒）  
今年度、函館市立深堀中学校から赴任しました。年号が平成になつたと同時に留萌の初任校へ旅立つて以来五校目、教員生活二十年目です。現在二年生担任、吹奏楽部の顧問で、教科は社会科です。中学校は教員のチーム力が命。すばらしこう教員チームに恵まれています。

**大山裕之**（平成六年卒）  
赤川中学校に赴任し、三年目になります。現在、一年生の担任をさせていただいているとあります。三階から見える函館山の景色を見ながら、数学の授業をしています。

**齋藤明子**（平成六年卒）  
赤川中学校に赴任して二年目となりました。一年団の副担任、理科を担当しています。日々、薄汚れた白衣姿で、謎の道具を詰め込んだカゴを持ち、走り回っています。

**山形もとこ**（平成八年卒）  
ソフテニス部を担当し、生徒と共に真っ黒に日焼けして、球を追っています。

**森脇あすか**（平成六年卒）  
本校に赴任して一年目です。一年生の副担任、国語を担当しています。

**赤川中では、まだ慣れないところもあり、これから学んでいかなければならぬことがあります。澤山あるなあ」と実感しているところです。毎日、元気で明るく生徒と過ごしていきたいと思います。**

**山形もとこ**（平成八年卒）  
赤川中学校で二年がたちました。本校には夕陽会会員が多く、心強く感じます。今は、吹奏楽部の副顧問をしながら、演奏会に向けて部員と共に過ごしています。教育大学函館校の音研も今年で最後となりますが、熱く燃えた学生時代の思い出を胸に、これからも頑張ります。

## 函館市立高盛小学校



稻岡 敬人（昭和五十五年卒）

いつも穏和で職員からの信頼は絶大。学芸会の大道具から楽器の修理まで、何でも器用にこなし、仕事も速い。お茶目でかわいらしいともっぱらの評判。

西谷 由紀子（昭和五十三年卒）

大事なことは何をおいてもやりきるという姿は校内の手本。クールに見えてミニバレーではベリー・ホット。職体三位の立役者。校内一のグルメ通でもある。

岡本 美貴（昭和五十七年）

心の広い高盛の肝つ玉母さん。子供も大人もよく観察し、奥深い背景まで洞察してしまう。指導力は抜群で海よりも深い愛で子供を包み込む。

中嶋 久（昭和五十八年卒）

隻眼の理科オタク。子供を理科にいざなう伝道師。理科室には怪しいものが並び、自然便是りは保護者からも好評。歌はクイーンとアニメと決まっている。

及川 雅子（昭和五十九年卒）

イタリアをこよなく愛する音楽家。車もアルファロメオ。厳しそうに見えて実は校内一優しいと子供の評。愛情いっぱい毎朝小鳥さんにエサをあげている。

笛原 史裕（平成四年卒）

ハンドボールクラブを全国へ導き、子供からの信頼も厚い。美形の上にスポーツ万能、ピアノも堪能。学級指導も教務の仕事も、そつなくハイレベルにこなす。

三橋 恵子（平成四年卒）

校内研修も一手に引き受け、毎日学級通信が出る。神がかり的司会で、どんな会議も時間内にぴったりと収める。まさにバリバリのキャリアウーマン。

若竹淳一（平成九年卒）

十年研を終え中堅の仲間入り。保育部を背負つて立つて。大きなガキ大将として子供の話をじっくりと聞き、的確に育てている。職場の癒し的存在。

### ■会員紹介

鎌田芳樹（昭和四十九年卒）

本人は無口だというが、声が大きくて射砲のように話題が尽きない。常に子供や職員に目を配り、進むべき道を示してくれる。野球とワインをこよなく愛する。

## 函館市立中島小学校



吉川恵二（昭和四十七年卒）  
口頭の弾となる。——菜根譚より——

本校へ赴任して五年目になりました。算数T・Tを担当して、先生方と共に基礎基本の定着に努めています。子供たちと花壇づくりに励もうと思っています。

佐々木 善貴（昭和六十一年卒）  
今年度、ここ中島小に赴任しました。

五年生の担任で、明るく元気いっぱいの児童と学習・運動にと勵んでおります。一期一会を大切に。出会いが宝です。

岡田幸子（昭和五十八年卒）  
休職されている先生のピンチヒッターとして、昨年着任しました。久しぶりの学級担任と苦手なパソコンに四苦八苦。全職員に日々支えていただいています。

加藤広子（昭和六十一年卒）  
中島小も六年目。元気でかわいい子どもたち、温かくつてゆかいな同僚たちともそろそろお別れかな。次はどこへ？

秋江玲子（平成三年卒）  
中島小に赴任して早五年。学校の忙しさにもすつきり慣れ、夏は東京、冬はオーストラリアへ飛び、暑い場所で英気を養っています。さらにパワーアップ！

斎藤貴実（平成五年卒）  
中島小で五年、教職は平成とともに二十年。新卒時代の宗谷でも夕陽会にささえられてきました。今後ともよろしくお願ひいたします。

笹森浩（平成元年卒）  
中島で五年、教職は平成とともに二十年。新卒時代の宗谷でも夕陽会にささえられてきました。今後ともよろしくお願ひいたします。

大場明子（平成元年卒）  
金子育てと仕事に追われる毎日。今年こそは、時間を有効に使えるようにと願いながらも「今日できることは明日もできる」がモットーです。（笑）

古俣敏（昭和四十八年卒）  
母校卒業後、三十六年経過、のべ九校に勤務し、たぶん中島小学校が最終校。明るく素直な子どもと、よく働く真面目な教職員に囲まれ日々幸せな毎日です。

三上裕子（昭和五十四年卒）  
常に自らの戒めとしている言葉です。

「書を読みて聖賢を見ざれば、鉛槧の傭となる。学を講じて躬行を尚ばざれば、其のモットーです。（笑）

## 函館市立大船小学校



本校は、明治十三年に熊泊小学校として開校しました。平成十一年に磯谷小学校と統合し、平成十三年には開校一二〇周年記念式典が挙行されました。

現在、七学級、児童五十七名が在籍しております。通学範囲が広いため、バス通学・自転車通学の児童がおります。

学校前には、雄大な太平洋が広がっています。保護者の職業は漁業が多く、子どもたちも夏休みには特産品の「昆布」を干す作業を手伝う姿がよく見受けられます。総合的な学習の時間にも「昆布」のことを調べたり「サケの稚魚放流」を行ったりするなど、海を生かした学習を進めています。

また、運動会ではグラウンド一杯に大漁旗がなびき、児童の種目のみならず保護者種目、世代間交流種目などが盛大に行われます。

学校の裏手のある大船遺跡を生かし、高学年では大船遺跡の学習を進め、さらに行修学旅行での三内丸山遺跡見学と合わ

せ縄文文化の青函交流を学習しております。また今年度は、五年生が豊崎地区で遺跡発掘を行い、まさに肌で縄文文化に触れさせることができました。

低学年では遺跡近くで栗拾いをしたり、自然の豊かさを実感しております。

スポーツに熱中する児童が多く、「サッカー同好会」「スポーツ愛好会」に、所属している児童が多くあります。今年度は、函館地区や南茅部地区のフットサル大会で活躍するほか、南茅部地区のマラソン大会などでも好成績を残すことができました。

文化面では、積極的に作品を応募し、読書感想文コンクールでは、南茅部地区をはじめ函館地区でも多くの子どもたちが入賞することができました。

研究では、算数科を通して子どもが「わかった」と実感できる授業を追求しております。今年度は、子ども同士の関わりに重点をおき全学級が授業を開けました。

学校職員は、校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員、用務員の十二名で構成されております。その内、七名が夕陽会であります。総合的な学習の時間にも「昆布」のことを調べたり「サケの稚魚放流」を行ったりするなど、海を生かした学習を進めています。

学校職員は、校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員、用務員の十二名で構成されております。今年度は、子ども同士の関わりに重点をおき全学級が授業を開けました。

学校職員は、校長、教頭、教諭、養護教諭、事務職員、用務員の十二名で構成されております。その内、七名が夕陽会であります。総合的な学習の時間にも「昆布」のことを調べたり「サケの稚魚放流」を行ったりするなど、海を生かした学習を進めています。

### ■会員紹介

校長	今 福 一	(昭和五十年卒)
教頭	水 野 修	(昭和五十七年卒)
教諭	吉 井 泉	(昭和五十七年卒)
伊 藤 圭	(平成三年卒)	
大 清 水 美恵子	(平成四年卒)	
紺 田 智	(平成十年卒)	
漆 畑 幸	(平成十一年卒)	

## 函館市立凌雲中学校



本校は、昭和五十七年旧松川中学校と旧中央中学校を統合し、「高い志は雲をも凌ぐ」という願いの元、函館市立凌雲中学校として開校しました。校舎は中央中学校だった当初、旧陸軍の木造兵舎をそのまま改修して使用していましたが、当時隣接していた千代田小学校が火災となり、罹災しました。その後、各教室を改修して使用していましたが、木造で老朽化が激しく、火災の心配も残ることから、地域の大多なる要望によって、昭和三十二年から三十八年にかけて鉄筋コンクリートに建て替えられました。体育館は市内中学校の中で最も広い面積となっています。

生徒数は年々減少傾向にあり、平成二十一年一月現在で二百三十名（八学級）です。二校を統合した歴史から校区は広く、市内の中心的繁華街である本町はもとより、万代町中央埠頭までカバーしています。地域には函館の台所「中島廉売」があり、生徒の生活にも密着しています。地域社会に対する誇りや愛着心が育っています。

部活動は、サッカー、野球、バスケットボール、バドミントン、ハンドボール、美術、吹奏楽、科学部があり、日々意欲的に活動しています。

校訓は「凌雲之氣」。教育目標の「真理探求」「自主自律」「友愛協調」「不撓不屈」を目指し、「チーム凌雲」を合言葉に、教職員全二十六名が一体となり教育実践に励んでいます。

### ■会員紹介

校長	柏崎 恭子	(昭和四八年卒)
教頭	濱谷 操	(昭和五十九年卒)
教諭	阿部 太一	(昭和四九年卒)
教諭	玉井 史	(昭和六十二年卒)
教諭	細田 成	(平成三年卒)
教諭	鈴木 栄	(昭和四九年卒)
教諭	吉川 史	(昭和四九年卒)
教諭	阿部 和	(昭和四九年卒)
教諭	太田 雅	(昭和四九年卒)
教諭	太田 宏	(昭和四九年卒)
教諭	太田 俊	(昭和四九年卒)
教諭	太田 勝	(昭和四九年卒)
教諭	太田 卓	(平成九卒)
教諭	太田 幸	(平成十年卒)
教諭	太田 功	(平成十三年卒)

築五十年弱という古い校舎のため、冬は寒さが厳しいですが学校の雰囲気は温かく、生徒の活動も活発です。定期的に開かれる生徒会主催の全校集会や、積極的な意見交換が行われる生徒総会など、生徒会活動が大変充実しています。また、ボランティア生徒や保護者による花壇整備が年間を通して行われており、古い校舎の中に美しさを添えています。独自の活動として、「凌雲中学校イメージアップ作戦」を行い、多数のボランティア生徒により、教室のドアや壁をペイントで塗りなおして綺麗で明るい校舎にするべくボーランティアを行いました。また、学校の顔である校門が、地域の方の手を借りながら、教師と生徒によってタイルを貼り直され、立派な校門に生まれ変わりました。

## 函館市立椴法華中学校

て日々の疲れを癒す、そんな本校にぜひお越しください！



本校は渡島半島の東南端に位置し、まわりを海と山に囲まれた豊かな自然あふれる環境にあります。旧椴法華村は、平成十六年十二月に函館市と合併し、現在の函館市立椴法華中学校と改名されました。平成十九年には、グラウンド全面改修工事が完了し、キツネや鹿たちにも大変喜ばれています。また、今年度から給食センター着工ということで、今、注目の学校と言えます。

全校生徒三十三名と小さな学校ですが、小さい学校だからこそ、生徒一人一人に対するきめ細かな支援、教職員のアイデアを活かした創意あふれる学校行事の展開など勢いと活力のある学校です。

一生懸命仕事をしつつ、季節に応じてホッケやイカ、エビなどの美味しい魚介類を食べ、恵山登山をして爽やかな汗を流し、波打際にある水無海浜温泉に入つ

### ■会員紹介 磯 部 伸 一（昭和五十八年卒）

今年度、シドニー日本人学校から本校に赴任しました。落ち着いた雰囲気の中、突然出てくるネイティブな発音が特徴。職体バスケットでは熱くなり、北海道マラソンも完走してしまった元気な教頭です。

### 筑 田 美穂子（平成二年卒）

授業中の独特的な動きや言葉で生徒に大人気。学校祭では「我が家」のコントにも挑戦。ロシア語や韓国語などを話すのもまねが上手です。キツネに服をもつていかれそうになりましたが、そんな危機も乗り越えた力のある先生です。

### 相 澤 光毅（平成五年卒）

なんでもできるオールマイティーな体育教師。スポーツもバレーはもちろん野球やバスケも上手。生徒と一緒にになって、料理も大工仕事も器用にやります。時々、学校帰りに魚釣りをして家庭を助ける優しい男。「勝負師」の顔も…

### 加 藤 こずえ（平成十年卒）

小さな体で元気に生徒と接しています。時々出てくる南茅部弁が親しみやすく、生徒の中には熱烈なファンもいます。十一年研で忙しい日を送りながらも、放課後に英検の指導を熱心に行っています。

### 長 田 洋 幸（平成十四年卒）

本校の中では一番の若手ですが、態度が大きいという噂も…椴法華の海と山の大自然を誰よりも愛しています。今年度は教頭に触発され、また、父親になつた記念として、ハーフマラソンに出場・完走しました。

## 受賞祝賀会・会員懇親会



・加藤 陽三氏 昭31卒平20年4月ご逝去  
 ・佐野 廣氏 昭13卒平20年5月ご逝去  
 ・太田 好紀氏 昭40卒平20年7月ご逝去  
 ・三浦 定夫氏 昭16卒平20年8月ご逝去  
 ・深沢 剛氏 昭8卒平20年9月ご逝去  
 ・加茂 徳郎氏 昭30卒平20年9月ご逝去  
 ・田中 市郎氏 昭10卒平20年11月ご逝去  
 ・西村 賢三郎氏 昭4卒平20年11月ご逝去  
 ・小山 煉氏 昭11卒平20年11月ご逝去  
 ・田村 一成氏 昭29卒平20年12月ご逝去  
 ・田畑 繁雄氏 昭10卒平21年1月ご逝去  
 ・大橋 功氏 昭32卒平21年2月ご逝去  
 ・高橋 正雄氏 昭18卒平21年2月ご逝去  
 ・栗林 幸雄氏 昭34卒平21年2月ご逝去  
 ・山田 道子氏 (昭45年卒)  
 ・武田 隆雄氏 (昭46年卒)  
 ・福嶋 功氏 (昭45年卒)  
 ・大川 富美男氏 (昭45年卒)  
 ・畠野 克行氏 (昭45年卒)  
 ・大平 洋氏 (昭45年卒)  
 ・新明 修一郎氏 (昭46年卒)  
 ・谷口 幸夫氏 (昭46年卒)  
 ・谷口 由美子氏 (昭46年卒)  
 ・松宮 健治氏 (昭46年卒)  
 ・矢野 俊雄氏 (昭46年卒)  
 (昭20年卒)

**函館市支部前納会員** (順不同)

◎計報 ご冥福をお祈りいたします

平成二十年度  
夕陽会函館市支部会務報告

夕陽会函館市支部事務局

9月6日(土) 鶴陵会懇親会に支部長出席  
 12月 本部会報195号移送

夕陽会函館市支部主催「受賞祝賀会・会員懇親」運営計画  
 支部会報75号編集計画

平成20年 4月1日(火) 総会会場抽選(市民会館)  
 4日(金) 支部総会会場打合せ  
 再再再再  
 新年度会員名簿作成

平成21年 2月5日(木) 顧問会議  
 13日(金) 夕陽会函館市支部主催「受賞祝賀会・会員懇親会」、ホテル側と打合せ  
 14日(土) 夕陽会渡島支部「勇退激励感謝の会」に支部長出席  
 20日(金) 夕陽会函館市支部主催「受賞祝賀会会員懇親会」

平成22年 3月12日(木) 支部会報75号発行

前納会員入会への案内状発送  
 本部会報197号移送

会計監査  
 升任・採用会員へ祝電

期日 六月二十日(土)  
 会場 国際ホテル

全国支部長会議 午後一時三十分  
 本部総会 午後四時

懇親会 午後五時三十分

◆夕陽会本部総会・大懇親会

※日時につきましては、予定ですので、正式には、五月中旬にご案内いたします。

**事務局だより**

6月  
 5日(木) 夕陽会創立90周年記念祝賀会  
 業務  
 13日(火) 第4回本部役員会・顧問、参  
 与会、懇親会に支部長、幹事  
 22日(木) 支部新会員歓迎会・幹事会及  
 び懇親会(ホテル函館ロイヤル)  
 ル)  
 会費徴収業務



◆函館市支部総会

9月6日(土) 鶴陵会懇親会に支部長出席  
 12月 本部会報195号移送

・日時 四月十一日(土)  
 午前十時

・会場 市民会館大会議室  
 ①学校幹事は必ず出席してください。  
 (不都合の場合は代理出席も可)

②学校幹事の他に以下の会員数の出席を  
 お願いします。

◇会員數九名以下の学校は、幹事の他に  
 一名以上

◇会員數十名以上の学校は、幹事の他に  
 二名以上

◇会員數十名以上の学校は、幹事の他に  
 二名以上

・期日 六月二十日(土)  
 会場 国際ホテル

全国支部長会議 午後一時三十分  
 本部総会 午後四時

・懇親会 午後五時三十分

9日(土) 夕陽会創立90周年記念祝賀会  
 運営  
 支部会報編集作業

・支部会報七十五号をお届けいたします。  
 原稿執筆にご協力を頂きました皆様に  
 深く感謝申し上げます。

(夕陽会函館市支部幹事長 中谷 満)

【平成二十一年度 予告】